

開発におけるロス（時間・金額）を低減させるタグチメソッド

平成26年4月21日

京都府中小企業技術センター

担当 基盤技術課（笠木・宮内）

電話 075-315-8633

品質工学（タグチメソッド）とは、将来起こるかもしれない多くの問題を未然に防止し、安定した設計・製造技術を効率よく開発する技術手法です。

この度、品質工学の考え方や手法の基礎を学ぶために、下記の講座を開催いたします。

記

1 目 的

市場で発生するクレームや製品リコールなど品質問題のほとんどは、開発・設計に起因するといわれています。市場クレームを無くすには、開発段階から市場での使用環境や劣化による機能の変化を予測し、様々な使用環境でも安定して機能を発揮できる技術・製品を作り込むことが必要です。これを実現する手法が品質工学（タグチメソッド）です。

本セミナーでは、品質工学の考え方・手法、積極的に取り入れるための使い方などを基礎から解説します。品質工学を未だ導入されていない企業の方々やこれから学ばれる方にも、ご参加いただける内容となっております。奮ってご参加ください。

2 主 催 京都府中小企業技術センター

3 日 時 平成26年5月23日（金）10時00分～17時00分

4 会 場 京都府産業支援センター 5階研修室 京都市下京区中堂寺南町134（七本松通五条下ル）
※北部産業技術支援センター・綾部 研修室、けいはんなプラザ ラボ棟4階会議室
丹後・知恵ものづくりパーク B棟小研究室ではハイビジョン会議システムによる遠隔セミナーを実施。

5 内 容 （1） 「開発におけるロス（時間・金額）を低減させるタグチメソッド」

（有）アイテックインターナショナル

副社長兼シニアコンサルタント 中野 恵司 氏（なかのけいじ）

【概要】 Taguchi Methods とは、パラメータ設計の概要、技術論＝理想機能を考える、Robust Design、技術を完成させる3つのSTEP、パラメータ設計の実験のやり方、技術の評価方法、利得とは、事例紹介：難削材における切削技術開発、パラメータ設計の利点、2段階設計法、機能性評価、許容差設計

（2） ディスカッション、質疑応答

（3） 京都品質工学研究会の紹介

6 定 員 60名（先着順：定員を超えた場合のみ、その旨をご本人に連絡いたします。）

7 参 加 費 無料

8 申 込 先 京都府中小企業技術センター 基盤技術課（笠木・宮内）

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134 京都府産業支援センター内

電話：075-315-8633 FAX：075-315-9497

E-mail：qe@mtc.pref.kyoto.lg.jp

ホームページ：http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp